

～ All for one, One for all. ～

光 の 家

LIGHT HOUSE WITH THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設

東京光の家会報

— 186 号 —

2016 年 4 月 25 日発行

このように、いつまでも
存続するものは、信仰と希
望と愛と、この三つである。
このうちで最も大いなるも
のは、愛である。

第三章 一三節
コリント人への第一の手紙



満開の桜 新年度、頑張るぞ!!

会 報 五 言

一・三日見ぬ間の桜かな。あつ
という間に葉桜になった。
時のたつのは早くて正確で
ある。

一・政治が大きく変わるとい
う。どんな風になるのか。
良き政治になってほしい。

一・楽しい野球シーズンがやつ
てきた。プロ野球も良い。
高校野球は更によい。

一・良からぬうわさが立つこ
の頃である。どうしたのか。
お金の為に人生を捨てては
いかん。

一・人生は尊い。与えられた
人生を何のためにつくすの
か…。

光の武具

社会福祉法人東京光の家

理事・評議員 相澤 忠一



1

私事から書き始めることをお許し願います。昨年末、私は肺炎にかかり、ひどい目に会いましたが、主治医の懸命な治療のおかげで、危機を脱することができました。喉に張り付く痰に堪えきれなくなった私は、「俺をこんなに苦しめる奴は、どのどいつなんだ?」と叫びたくなるほどでしたが、あとになって、犯人の見当がつかしました。「そうか、サタンの仕業^{しわざ}だったのか。すると、一番苦しかった時、俺は『サタンの影』を見ていた

ことになるな。」そうわかった瞬間、間髪を入れず、神様のみ業を身におぼえ、救いに与ったという実感が全身に溢れて、感謝に満たされました。考えてみると、今回の病気に限らず、わが身に起ったすべてのことの陰で、光の勢力と闇の勢力のぶつかり合いがあったことがわかってきました。サタンの誘惑に負けることがなんと多かったことか、恥しい限りです。世界の動きや、社会の出来事を見聞するにつけ、あらゆるところで、明と暗の両勢力が熾烈な争いを展開していることがわかります。

2

新約聖書ローマ書には、「夜はふけ、日が近づいている。それだから、わたしたちは、やみのわざを捨てて、光の武具を着

3

けようではないか」という文言があります(三章二節)。「やみのわざ」については、筆者パウロが、同書第一章後半で、「あらゆる不義、むさぼり、悪意、ねたみ、……不誠実、無情、無慈悲」等々、二〇余りの悪のカタログを披露しています。いずれも、やみのわざの元凶であることは、一目瞭然です。問題は、

「光の武具」です。光を放つ武具とは、イメージしにくい表現ですが、やみのわざの対極にあるものと取れば、パウロの意に合致するのではないのでしょうか。不誠実、無慈悲が、やみのわざであるならば、誠実、慈悲は、光の武具であるという具合に。

東京光の家は、その名の通り、光の武具を身に着けています。どんな武具でしょうか。それは、光の家の「経営の基本方針」六項目に、余すところなく表明されています。ここでは、紙幅の関係上、第二項と第二項に限って紹介させていただきますことにします。第二項は、基本方針中の基本方針です。『安心と安全と希望』生活には喜びを『利用者』が障害の重荷を乗り越えて「生きていてよかった」と心から感じとれる自立した人生を目指し、保有能力の開発に挑戦する。『挑戦』とは、いかにも武具にふさわしい。

第二項。『愛と奉仕の心で誠実な業務を』職員は、利用者が良く生きるために、自己の最善を捧げていくハートを持って仕事に取り組み、自己研鑽に励むこと。ローマ書で言う光の武具を、そのまま体現しているではありませんか。光の家は、このような兜^{かぶと}をかぶり、鎧^{よろい}を着た施設であります。利用者園生の皆さん^{さん}の明るい表情は、これらの方針が看板倒れではなく、たしかに彼等の心に届いていることを、雄弁に物語っているといっても、決して過言ではないと思います。

平成二七年度

締めくくりの会

東京光の家の各施設では例年三月末に、保護者代表、ボランティア等の関係者の皆様をご招待し、利用者、職員が一堂に会する年度を締めくくる会を開催しています。

今年も一部の式典では、田中理事長による式辞、招待者のご挨拶の他、この一年がんばった

利用者の表彰や成果発表、訓練修了の報告等が行われ、その後は、美味しい昼食を食べながら、音楽や演劇等の企画で楽しい一時を過ごしました。

皆で感謝をもってこの一年を振り返り、新しい年度に希望を抱く、素晴らしい行事となりました。



光の家神愛園「感謝会」一年の感謝を音楽にのせて



光の家栄光園「みのりの会」振り返っていいとも～♪



光の家新生園「納め会」元気な音楽を届けました



光の家就労ホーム「結の会」はりきってダンス！

「光の家の誕生の精神」

第四一回 創立者

秋元梅吉追悼集会

平成二八年二月一〇日（水）
会場：東京光の家 講堂

追悼集会では、今年も創立者秋元梅吉の講話のテープを聞き、そのあと田中理事長が「光の家の誕生の精神について」という題でお話しされました。東京光の家は、秋元先生の信仰によって与えられた事業体で、だからこそ、この追悼集会ではその信仰の精神を受け継いで行く事が大切であるという事を学ぶ事が出来ました。



追悼集会で講話される田中理事長

4年目の
春を迎えた

『光の家就労ホーム』の カナン



～連日、たくさんの地元のお客様にご利用頂いております。～



いつも明るくお出迎え (右 金田さん・左 宇野職員)



いろいろな花に
彩られたエントランス



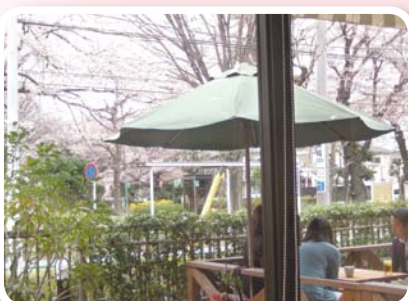
鮮やかな黄色の花に
はえるカナン全景



お庭のきれいな
カフェゾーン



広々とした店内



ウッドデッキで花見



絵画もたくさん
飾られています



桜が満開の中央公園

平成二八年度

新任職員紹介

東京光の家ではこの四月、総勢二二名の新任職員を迎えました。
愛と奉仕の心を持って誠実に業務に励みますので、どうぞよろしくお願い致します。



坂本 莉菜
東海大学卒

光の家神愛園

生活係



川村 愛美
東北福祉大学卒

光の家神愛園

生活係



金子 周平
障害者支援施設勤務

光の家神愛園

支援係



庄野 琴詠
目白大学卒

光の家栄光園

就労支援三係



赤井 郁美
帝京大学卒

光の家栄光園

生活支援係



山下 千尋
東京経済大学卒

光の家神愛園

生活係



蒲谷 ありさ
東京家政学院大学卒

光の家就労ホーム

生活支援・
作業担当



渡邊 望有季
東京福祉大学卒

光の家新生園

行動訓練係



中尾 俊太
開知国際大学卒

光の家新生園

生活支援係



安藤 滋一
横浜調理師専門学校卒

総務部

調理係



植木 量子
相模原病院附属看護学校卒

総務部

医務係



大西 弘之
神奈川大学卒

総務部

会計・経理係

真心のこもった仕事で
あなたの疲れを
癒します



心も体もリフレッシュ♪

昔から、天気と人間の健康には密接な関係があると言われてます。もともと人が感じやすいのは、季節による体の変化だそうです。今年の春も、花粉症の方には辛い季節でした。頭痛や首コリに悩まされるのもそろそろ終わりです。

また、新生活が始まるこの時期は期待でウキウキワクワクしますが、その反面不安や悩みもつきものです。精神的ストレス

の多い時でもあります。マッサージはそんな症状にも効果的です。日常を少し離れて、身も心もゆったりと労わってあげて下さい。ボーッと横になるだけでも自然と気持ちが悪くなりつきます。

プロの手法によって上手にリフレッシュしながら、巡りくる季節も異常気象をもらくらく乗り切って参りましょう。

「光の家」にご来所の際は是非マッサージホームにもお寄りください。皆さまの健康のお役に立たせて頂きます。

(光の家鍼灸マッサージホーム

佐藤 いく子)



マッサージホーム一同、
お待ちしております！

日障連四〇周年記念式典 光バンド演奏

平成 二八年 二月 一八日(日)
会場：日野市生活・保健センター

日野市障害者関係団体連絡協議会(日障連)は、一九七五年に設立されました。

そして四〇年後の現在、二〇を越える障害者団体へと広がりました。

その間、「ともに生きるまちをめざして」をスローガンに日野市の障害福祉の発展に大きく貢献してきました。

東京光の家においても日障連会員として役割りを担ってきました。

四〇周年式典当日に配布され



栄光園で製作した記念誌



光バンド有志で熱唱♪

た記念誌(日障連四〇年のあゆみ)は、光の家栄光園で印刷・製本され、更に式典出席者の前で光バンドの有志メンバー五人が演奏することができました。

今後も日野市の障害福祉向上のために努力していきたいと思ひます。

入所式

平成二八年四月一日（金）：光の家就労ホーム
平成二八年四月五日（火）：光の家新生園
会場：東京光の家 講堂

平成二八年度が始まりました。今年も、各施設に、新しい顔ぶれが加わりました。

就労ホームでは、男性二名、女性一名の利用者を迎えました。

三人とも、新しい環境で緊張感いっぱいでしたが、一生懸命な

挨拶をしてくれました。

光の家新生園では、男性三名、女性二名の新しい利用者を迎えることができました。

先輩利用者の皆さんからの温かい拍手と、歓迎の言葉に迎えられ、緊張の面持ちではありましたが、立派に式典を行うことができました。



4 名の利用者を迎えた「光の家新生園」入所式



3 名の利用者を迎えた「光の家就労ホーム」入所式



大好評だった点字教室

点字教室は、地域貢献活動の一ツとして開催しています。今年は、小学生四人を含む二名で行われ、テキストを使って点字の仕組みを一緒に学び、簡単な単語を点字で打ち、ゲーム等を通して少しずつ覚えていく事が出来ました。二時間半という短い時間でしたが、皆さんとても熱心に学ばれ充実した点字教室となりました。

（地域貢献活動室 大平恵美）

「第三回点字教室」を開催

平成二八年三月五日（土）
会場：東京光の家研修室

寄付者名簿

平成二七年二月二日
二八年三月三日

公益財団法人日本財団
会長 笹川 陽平様

普連寺（バン）
松田 功様

梨 セロリ
宮田 俊晴様

りんご
坂本 昭一様

玄米
安積 義治様

コーヒーギフトセット
安積 和男様

一箱
山崎 郡治様

みかん
佐々木 加枝子様

ほしわかめ
柴垣 政明様

一八 kg
坂本 武様

いよかん
岩井 正義様

純子様
小園江 康様

人参
土屋 正和様

干し芋
城山鶏園 加藤幸文様

大根
鈴木 文雄様

六〇 kg
小西 妙子様

バナナ
電子ピアノ（中古）

一台
二七 kg

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。



陶芸の大型作品「クジャク」



今年の大作「みんなの地球」



籐細工の大型作品にビックリ！



思い出のサクランボ狩りを表現しました！

第二九回 手さぐりの作品展

会期…平成二八年二月一六日～二二日
会場…日野市立とよだ市民ギャラリー

今回の作品展はサブテーマを設けず、利用者の皆さんの自由な発想をそのまま作品にすること心がけました。

そうやって仕上がった陶芸や籐

細工、手芸作品などを、いろいろな置き方で楽しんで頂けるよう、工夫を凝らして展示しました。昨年度より多くの方々に見て頂くことができました。

ありがとうございました。

(光の家新生園 訓練課

東坂沙緒里)

法人役員

永年にわたり光の家のためご尽力頂いた菅野秀郎理事・評議員が平成二八年二月五日、天に召されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成二八年三月二七日付にて、横引公一氏が理事・評議員に、大堀五晴氏が評議員にそれぞれ就任致しました。

◇理事長・評議員

田中亮治

◇常務理事・評議員

石渡健太郎

◇理事・評議員

相澤忠一

篠崎友照

松本栄二

◇監事

白井富士夫

◇顧問

杉山閑男

◇評議員

安藤 理子

梅田 俊幸

加藤 保武

川辺 和政

山下 勉

岩島 清
大堀 五晴
軽部 義和
佐川 勝宣
(五十音順)

発

行 〒一九一〇〇六五

東京都日野市旭が丘一七ー一七

社会福祉法人 東京 光 の 家

電話 〇四二(五八二)二三四〇

FAX 〇四二(五八二)九五六八